

日本とドイツにおける市民社会

— 比較の視角 —

2016年9月17日(土) 13:20 - 17:50 (開場 13:00)
会場：東京大学駒場キャンパスI 18号館ホール
日独同時通訳付 参加無料/事前申込不要

開会挨拶：梶谷真司（東京大学）

第一部：日独比較の視角

“グローバル公共哲学”の観点からみた独日市民社会の諸課題
山脇直司（星槎大学）

エミール・レーデラーと桑田熊蔵—社会批判と社会政策のはざまに
ヴォルフガング・シュヴェントカー（大阪大学）

1920年代のマックス・ヴェーバー受容—ドイツ・日本・アメリカ
ラインホルト・ザックマン（ハレ大学）

第二部：IGK 市民社会研究の視角

市民社会論から見る日独の戦後史—IGKの経験から得たもの
川喜田敦子（中央大学）

ブームのあとで？1990-2000年代の日本とドイツの市民社会論の
再検討
辻英史（法政大学）

諸制度の寄せ木細工としての市民社会
マンフレート・ヘットリング（ハレ大学）
平松英人（東京大学）

司会： ティノ・シェルツ（ハレ大学）

閉会挨拶：石田勇治（東京大学）

[主催]

独立行政法人日本学術振興会・日独共同大学院プログラム（東京大学=ハレ大学）
東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構ドイツ・ヨーロッパ研究センター（DESK）
日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B）「シンティ・ロマの迫害と「反ツィガニズム」に関する歴史学的研究」

[お問い合わせ先]

東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構ドイツ・ヨーロッパ研究センター（DESK）
東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部9号館313号室
Tel: 03-5454-6112
Email: desk@desk.c.u-tokyo.ac.jp URL: <http://desk.c.u-tokyo.ac.jp/>